

< 都市住民等との交流を実施している事例 >

農業体験受け入れの拠点となる集落を目指して

1. 集落協定の概要（基礎単価協定）

市町村・協定名	宮城県本吉郡南三陸町 <small>もとよしくみなみさんりくちよう</small> 山の神平 <small>やまのかみだいら</small>			
協定面積 12.3ha	田（100%） 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 207万円	個人配分			50%
	共同取組活動 （50%）	担当者活動経費		8%
		水路・農道等の維持管理費		28%
		多面的機能増進活動費 その他		2% 12%
協定参加者	農業者 33人			

2. 取組に至る経緯

当集落は、高齢化や後継者不足が深刻となってきたことから、一期対策で活動を行ってきた5つの集落が統合して、新たに協定を締結し、活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

現在、集落内には農作業を受託する組織はないことから、持続的な農業生産活動等に向けて、耕作放棄の防止や水路・農道等の管理、集落で購入した防除機による共同防除など集落内の担い手を中心とした地域一体での営農体制づくりを実施している。

グリーン・ツーリズム活動の実践については、地域の活性化を目的として体験の拠点施設である「さんさん館」や「ひころの里」と連携し、ファームステイの受け入れや農産物の加工体験、野菜の播種や山菜採り、果樹収穫等の様々な体験メニューを実施している。また今年度は、県内中学校2校の田植え体験を受け入れ、収穫後には餅つき体験の出前指導を行うなど、その後の交流も図られている。

こうした取組が少しずつ地域から理解を得られ、広がってきていることから、当集落が農業体験やファームステイ受け入れの拠点となることを目指して、今後さらに体験メニューを増やし、受け入れ体制の強化を図っていきたいと考えている。



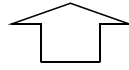
ファームステイ受け入れ・体験の様子



田植え体験の様子

【集落の将来像】

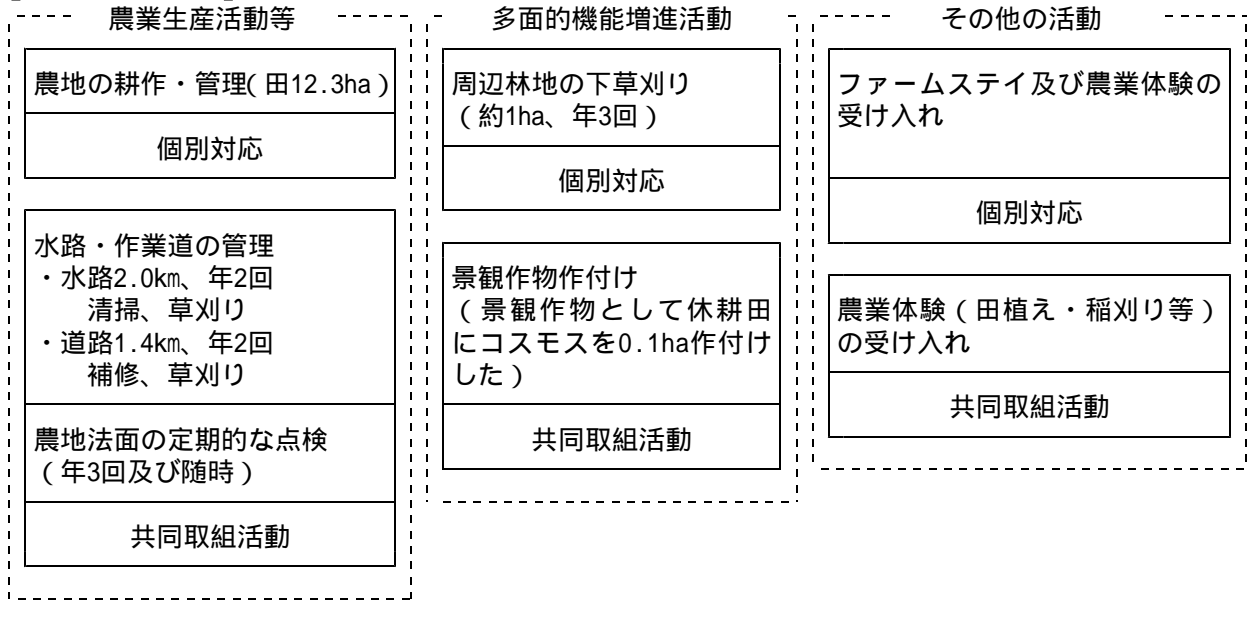
担い手を中心に集落一体となり機械・農業の共同化や農地環境整備を推進し、また都市住民等との交流を図り、地域活性化に努める。



【将来像を実現するための活動目標】

機械・農作業の共同化の推進
環境整備活動の実施
農業体験の受け入れ

【活動内容】



集落外との連携

地域の農家民宿・農家レストランと連携したグリーン・ツーリズムを実施。

4. 取組による変化と今後の課題等

耕作放棄の防止や営農体制づくりのほかに、集落を元気にするためのグリーン・ツーリズムに取り組むことにより、集落の地域資源を生かすことができ、また自分たちで地域を守るという意識の向上が感じられるようになった。

【平成20年度までの主な成果】

都市住民との交流による地域の活性化

- ・田植え体験受け入れ数(H19 3校:約200名、H20 2校:約180名)
- ・ファームステイ/農業体験受け入れ数(H19 3校:約100名、H20 5校:約200人)
- ・交流人口の増加により、周辺の施設や直売所等への相乗効果

地域内交流の活性化

- ・集落で共同取組活動の回数を重ねるごとに地域住民の連携が強まり、集落にまとまりができ、よい地域づくりにつながっている。